

平成30年6月10日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

認定NPO法人 IVY

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

- 企画名:** 難民を知るワークショップ～もし、あなたが故郷を追われたら～
- 企画実施概要:** ①実施内容
はじめに、幣団体の活動紹介及びODA事業、NGO相談員出張サービス事業について説明し、続いて幣団体が実施しているシリア難民・イラク国内避難民支援(N連、JPF事業)を元に制作した「難民を知るワークショップ」を行った。最後に、幣団体の難民支援の事業背景、事業内容等について紹介を行い、日本が実施するODA事業に対し、生徒の理解を深めることができた。
- ②対象者および参加人数
高校3学年26名

2 出張者氏名 小笠原 直子

3 依頼元／主催団体名 山形学院高等学校

4 実施予定日時 平成30年5月30日 (水) 11:10 ～ 13:00

5 実施場所 山形学院高等学校(住所:山形県山形市)

6 実施報告

〈生徒のアンケート結果から〉

- ・今まで難民問題は遠い国での出来事だと思っていたが、日本人である私たちもこの問題に向き合わなければならないと感じた。
- ・山形市内で難民に対して支援している団体があることを初めて知り、驚いた。
- ・これまで貧しい人々が難民として逃れているのだと思っていたが、迫害を受けて逃れているのだと知ることができた。
- ・難民キャンプの写真を見たことで、難民の人々がどのようなことで苦労しているのか理解が深まった。

〈所感〉

- ・冒頭行った「難民の定義(誰が難民にあてはまるのか)」クイズでは、生徒が抱いていた難民のイメージとは異なる回答だったことから、難民の人々に対し理解を深めるための効果的な導入となった。
- ・高校生にとって遠い存在である難民についてワークショップ形式で行ったことで、自分達をシリア難民に置き換えて活動に取り組む様子が見られた。特にシリア人家族が隣国へ逃れるために家族の誰を祖国へ残すか決断する活動では、家族背景を考慮しながら慎重に決める姿が見られた。

7 写真

	
「難民の定義」クイズの回答を説明するNGO相談員	隣国イラクへ逃れるために、難民登録申請書を書く生徒。逃れる理由についてグループ内で話し合う姿が見られた。

(写真2)

以上

平成30年7月26日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
日本国際ボランティアセンター

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名:

「国際フェスタCHIBA」へのブース出展

企画実施概要:

①実施内容: 千葉県内の国際協力団体が集うイベント「国際フェスタCHIBA」に、当団体の活動紹介ブースを出展する。

②対象者および参加人数: 標記イベントへの来場者

2 出張者氏名

細野 純也(事務局次長)

3 依頼元/主催団体名

ちば国際コンベンションビューロー、千葉県国際交流センター

4 実施予定日時

平成30年5月27日 (日)

10:00~15:00

5 実施場所

神田外語大学(住所: 千葉県千葉市)

6 実施報告

・当団体の活動紹介、ボランティアの受け入れ説明、ならびに活動国に関連するクラフト雑貨の販売を実施した。

・当日は該当イベントに1,500名が来場した(主催者発表数)。来場者は親子連れが多く、クラフト雑貨の紹介をきっかけに活動国の話がでるいい機会となった。

・また、会場が大学だったことから来場者には学生も多く、特に国際協力への参加方法についての質問が多く、相談員としてそれらに対応できた。

7 写真



来場者に興味を持ってもらうため、ブース展示にはクラフト雑貨を多く取り入れた。

(写真1)



今年度の相談員チラシが未納品だったため、昨年度に弊団体が制作したチラシを掲示した。

(写真2)

以上

平成30年6月6日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
名古屋NGOセンター

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： 国際チャリティー・フェスティバル2018(ウォークソン)

企画実施概要： ①実施内容：会場内のNPO/NGOによる活動紹介のためのブースに出展し、来場者を対象に、相談対応や活動紹介などを実施した。

②対象者および参加人数：来場者約5,000人(家族、学生、社会人、退職者、在住外国人など)のうち、当ブースへの来場者は50名程度であった。

2 出張者氏名 堀川絵美

3 依頼元／主催団体名 在日米国商工会議所

4 実施予定日時 平成30年5月20日 (日) 9:30 ～ 16:00

5 実施場所 愛・地球博記念公園(住所：愛知県長久手市)

6 実施報告 小さな子供から退職者まで、幅広い層にNGO活動を伝えることができた。また、来場者から、次の声が寄せられた。
「現地での国際貢献活動に興味があった。自分でも行ってみたい」
「日本でもいろいろな活動があることが分かった。自分にできることから初めてみようと思う」
「NGO活動は大学のキャリア教育にも役立つ。もっと情報を知りたい」

7 写真



会場と出展ブースの様子



来場者に活動紹介

(写真1)

(写真2)

以上

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名:

『大阪YMCA平和セミナー』でSDGsと国際協力をテーマとした講演 及び高校生のアクションを考えるワークショップの実施

企画実施概要:

- ①SDGsゴール4の説明、日本政府の取り組み、NGOの活動を講義し、SDGs達成に向けたアクションについて参加型ワークショップを実施する。
- ②大阪YMCAの学生18名、教員2名

2 出張者氏名

高橋美和子

3 依頼元／主催団体名

学校法人大阪YMCA

4 実施予定日時

平成30年5月24日 (木) 14:00～15:00

5 実施場所

YMCA学園高校(大阪市天王寺区生玉寺町1-3)

6 実施報告

・SDGsを初めて聞く高校生ばかりであったが、SDGsゴール4世界の教育について考えるワークショップには熱心に参加した。
・翌週、高校生たちから感想シートが送られてきた。その中には、国際協力にかかわる仕事への関心や、SDGsという言葉は初めて聞いたが、2030年に自分たちが社会人になっているとき、実現できるよう行動を起こしたいといった感想が述べられていた。

7 写真

	
SDGs ワークショップの風景	SDGsゴール4について講義する様子

(写真1)

(写真2)

以上

平成30年7月26日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
関西NGO協議会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

- 企画名:** 大阪YMCA国際専門学校国際学科、国際協力ボランティアクラブ「i-COSY」への講演活動
- 企画実施概要:**
- ①実施内容: 国際協力・NGO概論やSDGs等についての説明と、NGOでの就職を視野に入れている高校生へ、国際協力分野での就職について自身の経験を交えつつキャリア教育を行った
 - ②対象者および参加人数: 大阪YMCA国際専門学校 国際協力ボランティアクラブ「i-COSY」生徒(高校1年生～3年生)13名、教員2名

2 出張者氏名

谷川詩織

3 依頼元／主催団体名

大阪YMCA国際専門学校国際学科

4 実施日時

平成30年5月25日 (金) 15:00 ～ 16:30

5 実施場所

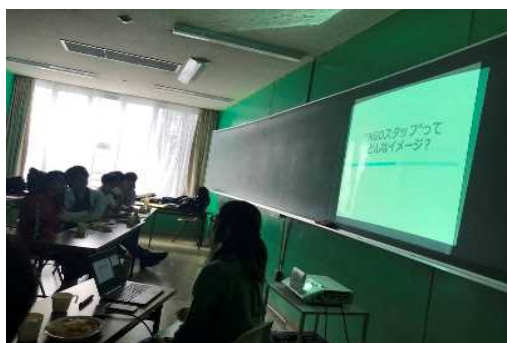
大阪YMCA国際専門学校(住所: 大阪府大阪市西区土佐堀1-5-6)

6 実施報告

生徒たちはメモを取りながら熱心に話を聞いていた。当日の参加者の感想には、「NGOについて知ることができて良かった」、「NGOが世界の発展を手助けしていると知って驚いた」、「もっと世界のことを知りたいと思った」などの感想がみられ、国際協力およびNGOの活動について、新しい知識を得て、刺激を受けている様子がうかがえる。

講義後には、参加生徒から「児童労働などの世界の問題を解決するための近道は何か」「高校生の自分たちに何ができるか」などの質問・相談があり、関心の高さがうかがえた

7 写真(カラーで2枚程度添付のこと)



講義中の様子



参加生徒との集合写真

(写真1)

(写真2)

以上

平成30年7月26日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
関西NGO協議会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： 国際協力に関する講演「持続可能な開発目標（SDGs）とNGOの役割」

企画実施概要： ①実施内容
SDGsを軸に、国際協力の潮流や我が国の取り組み、地域のNGOの活動を紹介。SDGsや国際協力を自身の生活に引き寄せて考える機会を提供する
②対象者および参加人数
大阪大学 多文化サポート概論 受講大学生・大学院生 6名、教員1名

2 出張者氏名 谷川詩織（特活）関西NGO協議会）

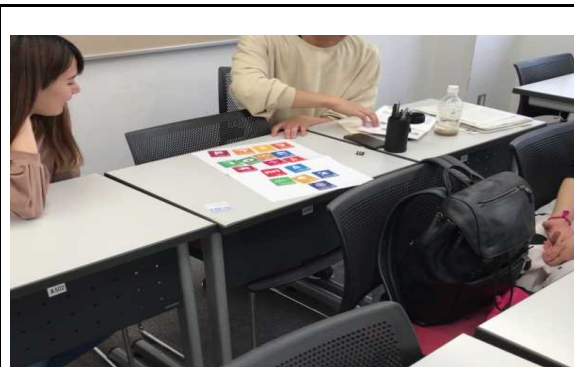
3 依頼元／主催団体名 大阪大学 林田雅至 教授

4 実施日時 平成30年5月29日（火） 16:20 ～ 17:50

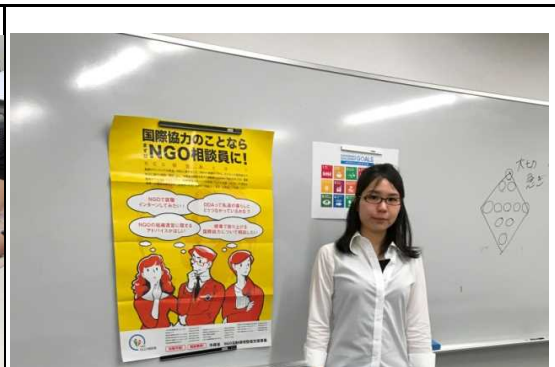
5 実施場所 大阪大学箕面キャンパス（住所：大阪府箕面市粟生間谷東8-1-1）

6 実施報告
NGOの活動やSDGsの概要について、講義とグループワークを実施した。学生は時に質問をしながら皆熱心に話を聞き関心の高さがうかがえた。
SDGsを考えるグループワークでは、17のゴールが互いに影響しあっていて、一部のゴールだけに取り組んでも課題の解決にはつながらないと感じた、SDGsの達成には全てのゴールに取り組む必要があることに気がついたという感想があった。SDGsをきっかけに複雑な国際課題の背景を知るとともに、様々なセクターが一丸となって取り組む必要性を認識する機会を提供することができたと考え

7 写真（カラーで2枚程度添付のこと）



SDGsを考えるグループワークの様子



講義をおこなう相談員の様子

（写真1）

（写真2）

以上

平成30年7月26日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
ピースウィンズ・ジャパン

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

- 企画名:** 東ティモール・フェスタ2018(東京都)への参加
- 企画実施概要:** ①実施内容
東ティモールに関する様々な催しを行うイベントにて、当国へのNGO連携無償資金協力事業をはじめとするNGO活動、フェアトレード事業について紹介。
- (簡潔に記載ください)
- ②対象者および参加人数
東ティモールに興味を持つ方々・日本在住東ティモール人計約700人

2 出張者氏名

山崎(大石)雅美

3 依頼元/主催団体名

上智大学/東ティモール・フェスタ実行委員会

4 実施予定日時

平成30年5月19日 (土) 10:30 ~ 18:00

5 実施場所

上智大学 四谷キャンパス(東京都千代田区紀尾井町7-1)

6 実施報告

・イベントを通じ、参加者はとても興味深い様子で東ティモール人高校生トークや留学生ライブを聞き入っていたり、東ティモールの特産物であるコーヒーの試飲会を通して、当団体が実施している現地での紹介に興味を持っていた。参加者は東ティモールに興味関心のある学生を中心とした日本人30%・在日東ティモール人70%であった。

・当日、NGO相談員として応じた相談では、次の質問を受けた。
- PWJのフェアトレード事業において、どの工程までを東ティモール現地で
又は日本で行っているのか。
- インターンシップの受け入れについて(期間・内容・期待される成果など)
- 東ティモールの歴史、現状、支援内容について

・所感
留学生によるトークショーや原産コーヒー飲み比べなど、現地の関連するイベントで大いに盛り上がった。ただし今後、引き続き定期的に同様のイベントを行う上では、東ティモール関連の団体や企業が少なく中で、毎回参加者や内容が同じになってしまう可能性があるため、毎年来たいと思う仕掛けが必要だと感じた。

7 写真(カラーで2枚程度添付のこと)

	
ブースの準備風景	それぞれの団体・企業のブースを設け、東ティモールでのフェアトレードや、国の文化・習慣について説明。多くの学生が訪れた

(写真1)

(写真2)

以上

平成30年7月26日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
えひめグローバルネットワーク

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名: ESD講演会(徳島県立富岡東中学校・高等学校)

企画実施概要: ①実施内容
中学生、高校生を対象に、ESDやSDGsなど、持続可能な社会づくりのための世界規模の取り組みを紹介するとともに、国際協力活動の事例を紹介した。また、国際協力や開発教育についてより詳しく学ぶために、NGO相談員制度を活用することを呼び掛ける。
②対象者および参加人数
中学生1～3年生、高校生1～3年生計830名及び教員 計900名

2 出張者氏名 菅 未帆

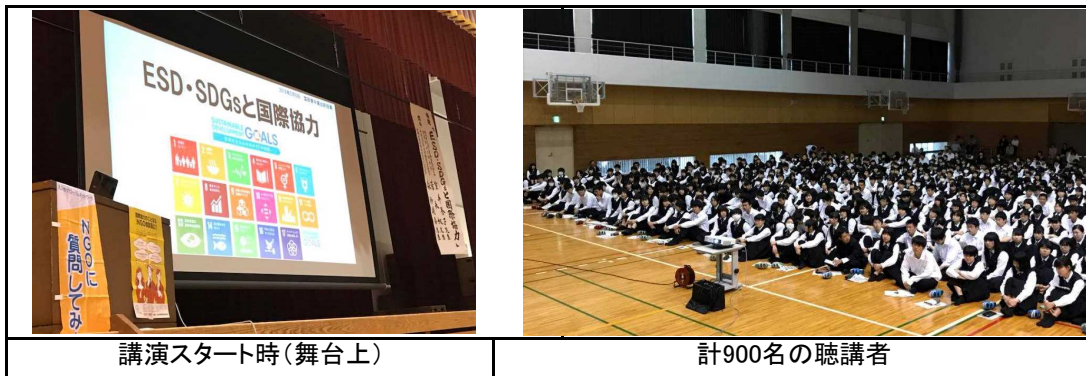
3 依頼元／主催団体名 徳島県立富岡東中学校・高等学校

4 実施予定日時 平成30年5月8日 (火)

5 実施場所 徳島県立富岡東中学校・高等学校(住所: 徳島県阿南市)

6 実施報告
～聴講生感想文より～
① ESDやSDGsの講演を聞いて、特に中国のお話が印象に残っています。中国では、満点が普通で2問ぐらいのミスをするとうして間違えるのといわれるのは、すごく意識が高いんだと思いました。ジャパニーズクオリティを売り込んでいる日本もいつか中国クオリティも負けてしまう日がくるのではないかと思います。
② 中国は今急激に産業などが発達していることは知っていました。青年海外協力隊の話聞いたときに中国の人は100点が当たり前ということに驚きました。今中国は日本と共に助け合っていかなければならないと思いました。
③ 日本にとって中国は隣に位置しており、身近な国だが、その文化や考え方、価値観が両国では全く異なっているということが、菅先生のお話から分かった。しかし、語学を教える上で、知る事は楽しい、伝えるのは面白いと感じられるのは万国共通なのだった。学ぶことに対して多くの喜びを得られる人々がもっと増えれば、この世界ももっと豊かになるのではないかな。もう一度、ESDを考え直してみて、自分たちができる事を模索していく必要があると思った。

7 写真



(写真1)

(写真2)

以上

平成30年7月26日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
沖縄NGOセンター

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名:

NGO相談員って何だろう？

企画実施概要:

①実施内容

国際協力・交流、世界とつながる活動、NGOについて興味関心を持ってもらうことを目的に、宜野湾市内の音楽イベント「アジルー」の会場で異文化体験ブースを出店。その際NGO相談員制度や当センターの活動内容について知ってもらうきっかけ作りを行った。

②対象者および参加人数

地域での活動に興味のある方、国際協力・交流に興味のある方約400名

2 出張者氏名

上原 真紀、永田 有希

3 依頼元／主催団体名

アジルー実行委員会

4 実施予定日時

平成30年5月26日（土）

10:00～17:00

5 実施場所

会場名 普天間神宮寺（住所：沖縄県宜野湾市）

6 実施報告

イベント参加者は国際交流にも興味のある地域の方や家族連れが多く、子ども達向けのミニワークや民族衣装、楽器体験などを通して国際理解や国際協力への意識啓発につながった。

イベント参加者の声より・・・

NGOって言葉は知っているけど、実際どういう活動しているのか知ることができて良かった。沖縄NGOセンターの事務所見たことあったけど、何している団体なのか知らず、今日話ができて良かった。

7 写真(カラーで2枚程度添付のこと)

	
相談員って何ですか？の質問に回答中	手前の子も達は楽器体験を自由に楽しんでいる。奥の男性よりONCの活動内容について質問を受けて説明中

(写真1)

(写真2)

以上